

第3学年 英語科学習指導案

日時：令和5年7月13日（木）
場所：荒川区立第四峽田小学校
対象：第3学年1組32名
授業者：HRT 川畑裕子
NEA Aliw Murakami
AD 大洞真由子

研究主題

自分の考えや想いを表現しようとする児童の育成
～『本当に伝えたいこと』を豊かに表現する言語活動を通して～

1 単元名 すきなあそびを伝えよう（遊び） (Lesson Plan Unit4)

2 単元の目標

友達ともっと仲良くなるために、相手に分かりやすいように工夫しながら、遊びに誘ったり応じたりして伝え合う。

3 関連する荒川区小学校英語科指導指針における領域別目標

話すこと (やり取り)	イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。
----------------	---

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (やり取り)	遊びに誘ったり応じたりする表現に、慣れ親しんでいる。	相手に伝わるように工夫しながら、遊びを進行したり応じたりして伝え合っている。	相手に伝わるように工夫しながら、遊びを進行したり応じたりして伝え合おうとしている。

5 指導観

(1) 単元観

本単元では、遊びに誘ったり応じたりするための表現に慣れ親しみ、相手に分かりやすいように工夫しながら伝え合って、楽しく遊ぶことをねらいとしている。そのために、3時間の授業を通して、必要な表現を繰り返し取り入れ、習得できるようにしていく。自分達で遊びを決めて進行し、楽しむというゴールを意識しながら、目的意識をもって毎時間の活動に取り組むことができるようにする。

また、全単元を通して、相手の発話に対するリアクションを大切にしている。本単元でも、児童の活発なリアクションが見られ、充実したやり取りが行われるようにする。

(2) 児童観

本学級の児童は、1年生の時から週1時間の英語学習を継続しており、歌やチャンツなど、楽しみながら取り組んでいる。また、コミュニケーション活動にも積極的で、英語を用いて話してみようとする姿が多く見られる。特に、ゲームの要素を取り入れた活動に意欲的で、習得させた

い語句や表現が定着している。一方で、英語を話すことに消極的な児童もいるため、グループでの活動を通して、互いの力を高め合い、「もっと話したい」「もっと伝えたい」という意欲がもてるよう指導する。

(3) 教材観

荒川区小学校英語科 Lesson Plan (第3学年) をベースとして、児童の英語への興味及び関心が高まるような授業を作り上げていく。ゲームは、ミッシングゲームやキーワードゲームなどの既習事項を扱い、安心して学習に取り組むことができるようにさせる。新出の表現は丁寧に扱い、十分に慣れ親しむことができるよう指導する。

また、「Let's Try!」のデジタル教科書には、「道具箱」の中にソングやチャンツが豊富に入っており、適宜使用している。本校に從來からあるラミネート資料や掲示物を活用し、歌やアクティビティを通して単元が進むごとに慣れ親しめるようにしていく。

【主な言語材料】

- ・ Do you like ~ ?
- ・ Yes, I do. / No, I don't.
- ・ Let's play ~.
- ・ That's a good idea !
- ・ BINGO Game
- ・ Missing Game
- ・ KARUTA Game
- ・ Keyword Game
- ・ Basket Game

6 研究主題に迫る手立て

(1) 『本当に伝えたいこと』を豊かに表現するための言語活動の工夫

「友だちと楽しく遊ぶ」というゴールのため、これまで慣れ親しんできたゲームや表現を思い出しながら学習を進めていく。そして、「友だちと楽しく遊ぶ」という日常的な活動が、「英語でもできた」という経験の機会となるようにする。

(2) コミュニケーションを豊かにする工夫

・言語コミュニケーションの工夫

あいさつや感情表現が自然に出てくるよう、「Pam and Ted」の一言表現集に継続して取り組む。また、リアクションカードの掲示やイングリッシュデイなど、日常的に豊かなコミュニケーションを意識できる環境作りに努める。

・非言語コミュニケーションの工夫

相手に分かりやすく伝えるために、Eye contact、Clear voice、Reaction、Gesture をコミュニケーションスキルの一つとして大切にさせる。意識して取り組むことができるように掲示したり、活動の振り返りをこまめにしたりすることで、達成感をもちながら活動できるようにする。

(3) 教師の語り掛け、英語での指示の工夫について

教師が楽しんで授業を行うことを大切にするとともに、英語を話そうとする姿を見せることで、児童の「英語で話すことにチャレンジしてみよう」という意欲を高めることにつなげたい。

また、活動に入る前のデモンストレーションと提示物を工夫し、スムーズに活動できるようにする。

(4) AD,NEA との連携について

AD,NEA とは事前に授業内容について打ち合わせを行い、役割分担をしている。特に、英語を発話する際には NEA や AD の発音を聞くことができるようにしている。

7 単元計画（全3時間扱い）

時	◆目標 ○主な学習内容・活動	※留意点 □評価
1	◆すきなゲームを伝えたり尋ねたりするときの表現に慣れ親しむ。 ○Greeting: 日直の合図で挨拶をする。 ○Daily Questions: 日直が質問する。 ○Song and Chants: 「Pam and Ted」 「Do You Like Broccoli Ice Cream ?」 ○Today's Lesson: 本時のめあてを確かめる。 すきなゲームを伝えたりたずねたりしよう。 ・今まで取り組んできたゲームを確認する。 ・すきなゲームを伝えたり尋ねたりするときの表現を発音する。 ○Activity: Basket Game ○Review Time: 振り返りシートに記入する。 ○Goodbye Greeting: 日直の合図で、挨拶をする。	※既習のゲームを扱い、安心して取り組むことができるようにさせる。 ※新出の表現は丁寧に扱い、十分に慣れ親しむことができるようにさせる。 本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
2 本時	◆遊びに誘ったり応じたりするときの表現に慣れ親しむ。 ○Greeting: 日直の合図で、挨拶をする。 ○Daily Questions: 日直が質問する。 ○Song and Chants: 「Pam and Ted」 「Do You Like Broccoli Ice Cream ?」 ○Today's Lesson: 本時のめあてを確かめる。 遊びにさそったりこたえたりしよう。 ・すきなゲームを伝えたり尋ねたりするときの表現を確認する。 ・遊びに誘ったり応じたりするときの表現を発音する。 ○Activity 1: Basket Game ○Activity 2: Let's play together ! ○Review Time: 振り返りシートに記入する。 ○Goodbye Greeting: 日直の合図で、挨拶をする。	※新出の表現は丁寧に扱い、十分に慣れ親しむことができるようにさせる。 ※ゲームを通して表現に慣れ親しむことができるようにさせる。 ※「Eye contact, Clear voice, Reaction, Gesture」を意識させる。 ※次時の活動（グループで遊ぶこと）を意識して行う。 □【知・技】遊びに誘ったり応じたりする表現に、慣れ親しんでいる。（行動観察）
3	◆相手に分かりやすいように工夫しながら、遊びに誘ったり応じたりして伝え合う。 ○Greeting: 日直の合図で、挨拶をする。 ○Daily Questions: 日直が質問する。 ○Song and Chants: 「Pam and Ted」 「Do You Like Broccoli Ice Cream ?」 ○Today's Lesson: 本時のめあてを確かめる。 相手に分かりやすいように工夫して伝え合い、みんなで遊ぼう。 ・すきなゲームを伝えたり尋ねたりするときの表現を確認する。 ・遊びに誘ったり応じたりするときの表現を確認する。 ○Activity: Let's play together ! ○Review Time: 振り返りシートに記入する。 ○Goodbye Greeting: 日直の合図で、挨拶をする。	※「Eye contact, Clear voice, Reaction, Gesture」を意識させる。 【思・判・表】相手に伝わるように工夫しながら、遊びを進行したり応じたりして伝え合っている。（行動観察） 【主】相手に伝わるように工夫しながら、遊びを進行したり応じたりして伝え合おうとしている。（行動観察・振り返りシート）

8 評価規準にもとづいた具体的な評価計画

時	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。		
2	遊びに誘ったり応じたりする表現に、慣れ親しんでいる。		
3		相手に伝わるように工夫しながら、遊びを進行したり応じたりして伝え合っている。	相手に伝わるように工夫しながら、遊びを進行したり応じたりして伝え合おうとしている。

9 本時（2／3）

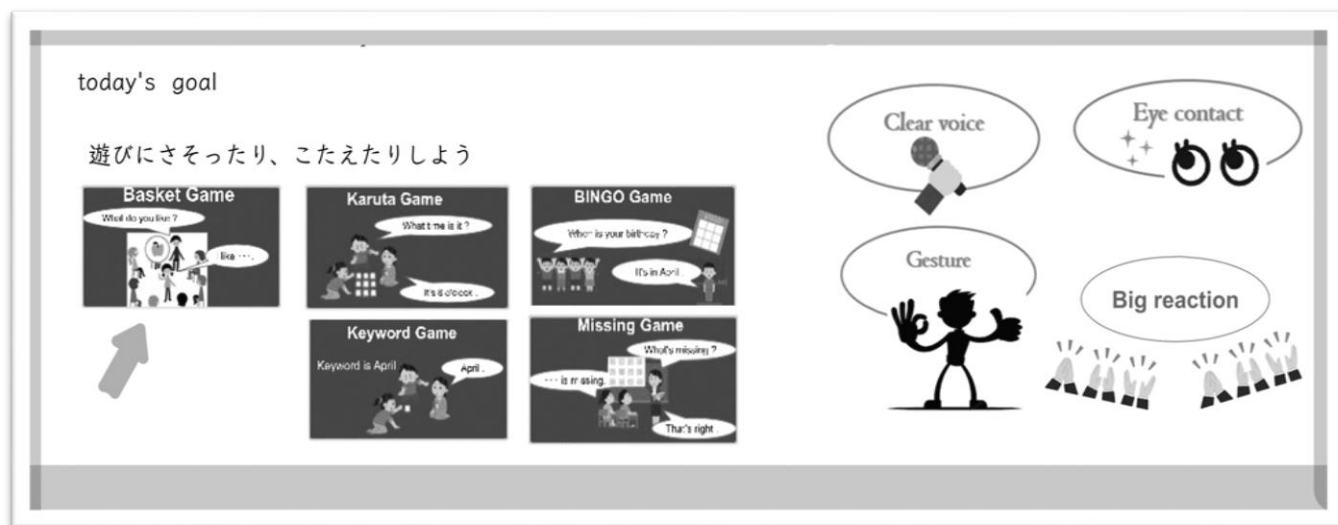
（1）目標

遊びに誘ったり応じたりするときの表現に慣れ親しむ。

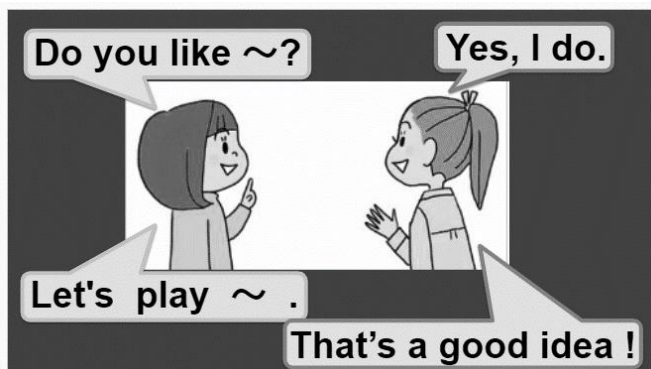
学習の流れ	主な学習活動	主な英語表現・語句	※留意点 □評価
Greeting	○日直の合図で挨拶をする。	Today's English leader, please, come to the front.	
Daily Questions	○日直が質問する。	What month is it? What day is it today? How is the weather today?	
Songs and Chants	○「Pam and Ted」 ○「Do You Like Broccoli Ice Cream ?」		
Today's Lesson	○今日のめあてを確かめる。 遊びにさそったり こたえたりしよう ・好きなゲームを伝えたり尋ねたりするときの表現を確認する。 ・遊びに誘ったり応じたりするときの表現を発音する。	Today's goal is ～. Do you like ～ ? Yes, I do. Let's play ～ . That's a good idea.	※新出の表現は丁寧に扱い、十分に慣れ親しむことができるようにさせる。
Activity 1	○Basket Game	Do you like ～ ? Yes, I do. Let's play ～ . That's a good idea.	※ゲームを通して表現に慣れ親しむことができるようにさせる。 ※「Eye contact, Clear voice, Reaction, Gesture」を意識させる。
Activity 2	○みんなで遊ぼう ・Activity 1 のやり取りを用いて、児童に遊びを提案させる。 ・HRT がリーダーとなり、全員で活動する。 ・指導者3名を中心として、3グループに分かれて活動する。	Do you like ～ ? Yes, I do. Let's play ～ . That's a good idea.	※次時の活動（グループで遊ぶこと）を意識して行う。
Review time	○振り返りカードを書く。	How was today's class? Please write your comment.	【知・技】遊びに誘ったり応じたりする表現に慣れ親しんでいる。（行動観察）
Goodbye Greetings	○挨拶をする。	That's all for today.	

10 板書計画

【黒板】



【電子黒板】



11 協議会の記録

○指導講評 聖学院大学人文学部欧米文化学科教授 東 仁美 先生

- ・～が好きな人？は、Who likes Bingo Game? 児童が分かっていたいなかったら、手を挙げながら質問するなど、身振りを交えながら質問をすることで伝わっていたように感じた。AD,NEA と連携して、I do, I like とサポートをするとさらに児童が分かると思う。今回の授業のよかったところは、川畑先生の指導力が高い、経験値が高い、児童理解が深い。そして、英語を正確に話すことができ、授業の中でもたくさん英語を話していた。AD,NEA との連携がとれていたのがよかった。バスケットゲームで、鬼になった児童を、となりで担任が支援していた。その場で直感的に動くことができる力を担任がもっている。児童の反応に対して、逃さずに受け止めているところや児童の考えを逃さずに拾っていることで児童が安心して話せる雰囲気ができていた。また、振り返りカードを書き終えた児童に声を掛けていたのもよかった。
- ・指導計画については、単元の目標は3年生らしい目標になっている。評価計画についてもよい。中学年は ABC 評価ではなく、何ができるようになったのかを書く評価をする。研究主題に迫る手立てについては、分科会でよく相談して書かれているように感じた。本時の流れもよかったが、ビンゴゲームの時間は、児童が達成感をもてるように、もう少し時間を取れるとよかった。
- ・パソコンの位置が工夫されていて、操作している様子も気にならなかった。最初のチャンツの音楽の音量は、もう少し大きくするとよかった。歌に日本語字幕がついていたが、なくてもいいように感じた。

- ・キーワードゲームについては、今日はゲームとしては楽しいので、特に問題がないように感じた。ただ、行動が遅い子への対応として、カードをとらせてあげるなど、その児童も楽しめるような配慮があればよい。
- ・英語の表現について、「床に座ってください。」は、「**Sit on the floor.**」、「りょうたろうくんは終わったのね。」は「**Ryoutaro is finished.**」、「あと1つ」は、「**One more to go**」、「Aliw 先生に聞いてみよう。」は、「**Let's ask Ms. Aliw**」、「楽しかったですか？」は、「**Did you enjoy today's class?**」。
- ・中学年では、話す力を育成する工夫をする。そのためには、教師自身が積極的に英語を使っていく。今日の授業の中では、バスケットゲームをやる必然性もあり、1往復半のやり取りもできていた。

1 2 成果と課題

【成果】

- ・英語での指示について、児童が理解できないとき、身振りを交えて話すことで伝わっていた。また、AD,NEA との連携によって、さらに伝わりやすくなっていた。
- ・AD,NEA と担任でそれぞれのグループを担当したので、児童の発話や積極的に取り組む姿勢を見逃さずに声掛けができた。
- ・児童のリアクションやジェスチャーが多く見られた。Pam and Ted が効果的であった。

【課題】

- ・教師自身が積極的に英語を使って、児童の話す力を育成していくこと。